

TeX 関連の Tips

REVTeX4.1 のインストール

<https://authors.aps.org/revtex4/> から revtex4-1.zip をダウンロードし、その中の revtex4.tds.zip を

```
/usr/local/share/texmf-local/
```

に解凍して、

```
# mktexlsr /usr/local/share/texmf-local/
```

を実行。入っている TeX システムの natbib が古いと BibTeX がトラブるので <http://www.ring.gr.jp/pub/text/CTAN/macros/latex/contrib/> から natbib.zip を拾ってきて、その中の *.bst は

```
/usr/local/share/texmf-local/bibtex/bst/natbib/
```

にコピー、残りは

```
/usr/local/share/texmf-local/tex/latex/natbib/
```

に入れて、

```
# cd /usr/local/share/texmf-local/tex/latex/natbib/  
# latex natbib.ins; latex bibentry.ins
```

を実行する。

```
/usr/local/share/texmf-dist/tex/latex/natbib
```

は消して、最後に

```
# mktexlsr /usr/local/share/texmf-dist/  
# mktexlsr /usr/local/share/texmf-local/
```

を実行。これでトラブるなら AMS 関連を疑う。

PNG 画像のインクルード

わざわざ EPS 形式に変換しなくても PNG 画像のまま PDF にインクルード可能。teTeX パッケージのコマンド ebb を用いて

```
> ebb fig.png
```

とすると、fig.png の BoundingBox ファイル fig.bb ができる。スタイルファイルを

```
\usepackage[dvipdfm]{graphicx}
```

のように定義し、ドキュメントの中で例えば

```
¥begin{figure}
¥includegraphics{hoge.png}
¥end{figure}
```

としてやってコンパイルすれば良い。xdvi では見れないが、dvi2pdf で PDF にインクルードできる。

フォント埋め込み PDF 作成

dvi2pdf で dvi->pdf するとき、デフォルトだと CM フォントは埋め込まれるみたいだが、日本語 (CID フォント) は Ryumin-Light、GothicBBB-Medium という仮想フォントが /usr/local/share/texmf/dvi2pdf/config/cid.map で設定されているため、埋め込まれない。強制的に埋め込むには、ローカルにフォントファイルを置いて (IPA フォントの場合は、ipam.ttf, ipag.ttf)

```
rml H :0:ipam.ttf
gbm H :0:ipag.ttf
rmlv V :0:ipam.ttf
gbmv V :0:ipag.ttf
```

というマップファイル ipa.map を作ってやる。

```
> dvi2pdf -f ipa.map hogehoge.dvi
```

としてやれば、フォントが埋め込まれた PDF ファイルができる。

フォントファイルをサーチパスに含めるには、/usr/local/share/texmf/fonts/truetype/ あたりに ipam.ttf, ipag.ttf を置く or リンクを張る。そして、root 権限で

```
# mktexlsr
```

を実行

実際に受け込まれたかどうかは

```
> pdffonts hogehoge.pdf
```

で確認可能。